

令和5年度 第1回山口県道路交通渋滞対策部会  
議事概要

1. 日 時 令和5年 8月28日(月) 10:00~11:00

2. 場 所 山口県庁 4階 共用第2会議室

3. 出席者

[委員] ※敬称略

佐々田 敬久	国土交通省中国地方整備局企画部	広域計画課長
内田 豪士	国土交通省中国地方整備局道路部	道路計画課長
山田 直也	国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所	所長(部会長)
竹下 和幸	国土交通省中国地方整備局山陰西部国道事務所	事業対策官【代理】
三浦 裕寿	国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所	計画課長
三浦 道人	国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所	交通対策課長
大林 元	国土交通省中国運輸局交通政策部	環境・物流課長
舘 昭憲	国土交通省中国運輸局山口運輸支局	首席運輸企画専門官
坂本 良夫	西日本高速道路株式会社中国支社	企画調整課長
永野 善太郎	山口県警察本部交通規制課	交通管制官【代理】
嶋原 徹雄	山口県土木建築部	道路整備課長
正木 征利	山口県土木建築部	道路建設課長(副部会長)
野嶋 秀範	山口県土木建築部	都市計画課長
毛利光 伸二	山口県トラック協会	専務理事
藤原 德行	山口県バス協会	専務理事
丸山 浩	山口県タクシー協会	専務理事

4. 議事

- (1) これまでの検討経緯
- (2) 主要渋滞箇所のフォローアップ
- (3) 渋滞対策の効果検証
- (4) 道路利用者団体と連携した渋滞対策
- (5) 主要渋滞箇所解除フローの見直し(案)
- (6) 観光地渋滞対策
- (7) ニューノーマル時代における交通需要マネジメントの検討

5. 議事概要

- (1) これまでの検討経緯を説明。
- (2) 最新のETC2.0プローブデータ(令和4年4月から令和5年3月データ)を用い、主要渋滞箇所の渋滞状況変化について報告。
- (3) これまでに対策を行った「国道188号岩国駅前交差点改良」、「国道9号唐戸交差点ピンポイント渋滞対策」、「国道2号馬屋線交差点ピンポイント渋滞対策」、「国道2号錦見交差点ピンポイント渋滞対策」について、効果検証した結果を報告。
- (4) 道路利用者団体と連携した渋滞対策として「国道9号神田町交差点」の検討を説明。
- (5) 主要渋滞箇所解除フローの見直し(案)について提案し、了承された。
- (6) 観光地渋滞対策として、令和5年度のGWに行った対策の効果及び次回以降の取組を報告。
- (7) 令和4年度に山口市内を対象として実施した交通需要マネジメント(TDM)の結果及び今後の取組を報告。

〈委員からのご意見〉

(2) 主要渋滞箇所のフォローアップ

- ・2年連続で選定基準を下回るにもかかわらず経過観察としている理由は何か。  
⇒これまでは新型コロナウイルスの影響で経過観察としていた。また、いずれの交差点も2年連続で緩和している。後ほど提案させて頂く主要渋滞箇所の解除フロー（案）が本会議で了承された場合、今後、現地確認の上、解除について検討する。

(3) 渋滞対策の効果検証

- ・「3.渋滞対策の効果検証」において、今回検証された4箇所については、旅行速度が改善していることから緩和されたという認識でよいか。  
⇒ピンポイント渋滞対策によって、渋滞は緩和している。

(4) 道路利用者団体と連携した渋滞対策

- ・国道9号の神田町交差点は、隣接する交差点を残してほしいという地元要望から右折時間の現示調整を行うため、一度状況を確認していただきたい。  
⇒今後、御意見を踏まえ、確認を行いたい。

(5) 主要渋滞箇所解除フローの見直し（案）

- ・主要渋滞箇所の評価は平日昼間であるが、実際にはGWやイベント開催時も渋滞が発生している。平日だけでなくGWやイベント開催時など休日も確認していただきたい。  
⇒今後、御意見を踏まえ検討していきたい。
- ・従道路の評価については提案の内容でよい。ただし、岩国駅前付近において送迎のための一般車両の集中でバスの運行に妨げが出ていることも確認されているため報告する。  
⇒御意見・御指摘について参考にさせて頂く。
- ・今後新たな主要渋滞箇所を選定する場合にはどのように考えていくのか。  
⇒新規の選定については、他県の事例を参考に検討していきたい。

(6) 観光地渋滞対策

- ・今後の対応方針の1つに公共交通の利用を促進するのは良いが、GWやイベント時には路線バスが渋滞により進むことができない状況もある。そのため、バスがスムーズに走行できる環境整備について検討いただきたい。加えてバス停周辺に滞留する一般車両に対して注意喚起がなされていない状況もある。GWやイベント時には路面標示の対策だけでなく、取り締まりなど総合的な対策の実施を検討いただきたい。  
⇒国道9号では対策として道路管理者である国土交通省で路面標示を実施しているところである。引き続き、その他渋滞対策については下関市も検討を進めているところであり、その際には御意見を頂きたい。
- ・今後の観光地渋滞対策は、周辺で予定されている再開発事業と連携して進めるのか。  
⇒下関市と連携して進めていくことを想定している。下関市では「あるかポート・唐戸エリアマスタープラン」が令和5年2月に策定しており、今後も注視していきたい。

(7) ニューノーマル時代における交通需要マネジメントの検討

- ・山口県の進めるぶちエコやまぐちの取り組みで、公共交通を利用するとぶちエコポイントが3ポイント貯まる。このこともあわせて周知してはどうか。  
⇒御指摘のとおり、周知していきたい。
- ・「エコ通勤優良事業所認証」で登録のある事業所は、山口県内では宇部市役所と国土交通省九州運輸局下関海事事務所の2事業所のみであるため、参加をお願いしたい。